

はじめに

「年金アドバイザーが答える年金相談 305」の発行から3年半の年月を経て、この度「年金アドバイザーが答える年金相談 326」が発行の運びとなりました。

この3年半の間に年金制度においては、被用者年金の一元化と受給資格期間の10年短縮という大きな改正がありました。今回の改訂版では、第1章に被用者年金一元化を取り上げ、特に第1号厚生年金被保険（一般厚年）と他の種別の期間（共済厚年）があるケースでの年金請求と支払い、長期加入者の44年の見方、在職老齢年金、加給年金額の加算・停止、遺族厚生年金、一元化後の老齢・遺族・障害厚生年金における職域加算の扱い等について、一步踏み込んだ内容で社会保険労務士石原義之先生に執筆していただきました。年金相談を担当されている皆様にとって、実践的で役立つ内容だと思います。

また、受給資格期間10年の短縮に関しては、多くの人から相談を受けました。10年間の保険料納付済期間があれば、受給できる老齢基礎年金は、年額で約19万5,000円。この額が65歳から90歳までの25年間受給できるとしたら、トータルで約480万円になります。年金をあきらめていた人が、予想していなかった老後資金を受給できることで思わず笑顔になるのを見て、私もうれしい気持ちになりました。

初版から数えて13訂版となる本書を皆様のお手元にお届けできることを心からうれしく思っております。

最後に本書の発行にあたりまして、社会保険労務士の石原義之先生、赤井加代子さんにご尽力を賜り、株式会社日本法令の三木治さんに大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

2018年初夏

株式会社ジェイ・サポート代表取締役
社会保険労務士 原 令子

CONTENTS

第1章 被用者年金の一元化

〈1〉 年金の請求と支払い	20
ケース 1 一般厚年と共済厚年の加入期間がある人の年金請求と支払いはどうなる？（その1：男性の場合）	/ 20
ケース 2 一般厚年と共済厚年の加入期間がある人の年金請求と支払いはどうなる？（その2：女性の場合）	/ 22
〈2〉 受給資格と在職老齢年金	24
ケース 3 長期加入者の特例は、1号（一般厚年）と3号（共済厚年）を合算して44年でもよいか？	/ 24
ケース 4 1年未満の加入期間の老齢厚生年金は、いつから支給される？	/ 26
ケース 5 1号老齢厚生年金と3号老齢厚生年金を受給する人の在職老齢年金はどうやって計算される？	/ 28
ケース 6 妻が1号老齢厚生年金と3号老齢厚生年金を受給できる場合、夫の加給年金額はいつから停止される？	/ 30
ケース 7 一般厚生年金と共済厚生年金の加入期間を有する人の繰下げ請求はどうなる？	/ 32
ケース 8 共済厚生年金の資格を喪失し、同日に一般厚生年金に加入したときの在職老齢年金はどのようになるのか？	/ 34
〈3〉 一元化後の遺族厚生年金	37
ケース 9 死亡した人に共済厚生年金と一般厚生年金の加入期間がある場合の遺族厚生年金はどうなる？（その1：短期要件）	/ 37
ケース 10 死亡した人に共済厚生年金と一般厚生年金の加入期間がある場合の遺族厚生年金はどうなる？（その2：短期要件）	/ 39
ケース 11 死亡した人に共済厚生年金と一般厚生年金の加入期間がある場合の遺族厚生年金はどうなる？（その3：長期要件）	/ 41

ケース 12	死亡した人が退職共済年金と老齢厚生年金を受給していた場合の遺族厚生年金はどうなる？（その4：65歳以後の長期要件）	/ 43
ケース 13	3号老齢厚生年金と1号老齢厚生年金の受給者が在職中に亡くなった場合の遺族厚生年金はどうなる？（その5：長期要件と短期要件）	/ 47
ケース 14	1号厚生年金と3号厚生年金の加入期間がある夫が在職中に亡くなった場合の遺族厚生年金はどうなる？（その6：長期要件と短期要件）	/ 51
《4》一元化後の職域加算額の扱い		54
ケース 15	一元化後は、退職共済年金の職域加算額の支給はどうなる？	/ 54
ケース 16	一元化後は、障害共済年金の職域加算額の支給はどうなる？	/ 57
ケース 17	一元化後は、遺族共済年金の職域加算額の支給はどうなる？	/ 59
《5》離婚分割と振替加算額		62
ケース 18	一元化後に離婚分割を受けると振替加算額はどうなる？	/ 62

第2章 ねんきん定期便

《1》「ねんきん定期便」の概要		66
ケース 19	「ねんきん定期便」はどんな人に、いつ届くの？	/ 66
ケース 20	「ねんきん定期便」の「お客様のアクセスキー」とは？	/ 67
ケース 21	「ねんきん定期便」が届かない場合とは？	/ 68
ケース 22	「ねんきん定期便」にはどのようなことが書かれているの？	/ 70
《2》加入記録		72
ケース 23	日本年金機構で管理している年金加入記録とは何？	/ 72
ケース 24	「ねんきん定期便」に記載の合算対象期間とは？	/ 74
ケース 25	「ねんきん定期便」の特定期間とは？	/ 76
ケース 26	記載の加入期間はいつの時点までのもの？	/ 78

ケース 27	60歳以後は年金制度に加入しない場合、60歳までの記録通知 は来ないの？	/ 79
ケース 28	60歳以後も年金制度に加入する場合の「ねんきん定期便」は？	/ 80
《3》支給見込額		82
ケース 29	50歳未満でも見込額は記載される？	/ 82
ケース 30	どんな人の「ねんきん定期便」に見込額が記載されるの？	/ 83
ケース 31	50歳以上なのに、見込額が記載されていない…	/ 84
ケース 32	「ねんきん定期便」の見込額はどうやって計算されているの？	/ 85
ケース 33	厚生年金の加入月数は増えているのに、見込額が増えないのは なぜ？	/ 86
ケース 34	年金の家族手当が見込額に含まれていない…	/ 87
ケース 35	会社を辞めたら、見込額も減ってしまうのはなぜ？	/ 88
ケース 36	老齢基礎年金の見込額が満額の数字より高い…	/ 89
ケース 37	「ねんきん定期便」と年金事務所の見込額が異なっている…	
		/ 90
《4》標準報酬月額・標準賞与額		92
ケース 38	「標準報酬月額」とは？	/ 92
ケース 39	実際の給与と標準報酬月額がかけ離れている…	/ 97
ケース 40	賞与額の取扱いは？	/ 99

第3章 年金の加入と保険料等に関する相談

《1》通 則		102
ケース 41	年齢の到達日により損得はあるの？	/ 102
ケース 42	年金の支給期間終了と未支給年金	/ 104
ケース 43	未支給年金を受け取れる人とは？	/ 105
ケース 44	端数処理	/ 107
ケース 45	受給権者の申出による支給停止について	/ 108
ケース 46	年金時効特例法について	/ 109
ケース 47	結婚前の年金手帳が見当たらない…	/ 110
ケース 48	年金手帳がいくつもあって、名前も間違っている…	/ 111

ケース 49	勤めていた会社がなくなっているけれど、被保険者期間を調べる方法は？／112
〈2〉国民年金の加入・保険料 115	
ケース 50	国民年金の強制被保険者／115
ケース 51	国民年金の任意加入／116
ケース 52	第3号被保険者（被扶養配偶者）の要件／118
ケース 53	基本手当を受給している間は、第3号被保険者になれない？／119
ケース 54	会社員の夫が退職したら、妻は国民年金の保険料を納めなければならないの？／120
ケース 55	66歳の夫が、厚生年金に再加入。妻は再度第3号被保険者になれる？／121
ケース 56	第3号被保険者になると、夫の厚生年金保険料が増える？／122
ケース 57	自営業者の妻が専業主婦の場合は？／123
ケース 58	国民年金保険料の納付／124
ケース 59	国民年金の毎年の保険料の決め方は？／126
ケース 60	国民年金の保険料を支払うのが困難な人は？／127
ケース 61	国民年金の保険料免除とは？／128
ケース 62	障害・遺族の年金を受給していても国民年金の保険料は納めるの？／130
ケース 63	障害基礎年金の受給により法定免除となる場合、希望すれば国民年金の保険料の納付や前納は可能？／131
ケース 64	国民年金第1号被保険者の産前産後保険料は？／132
ケース 65	学生の納付特例とは？／133
ケース 66	国民年金保険料納付猶予とは？／134
ケース 67	国民年金の保険料免除が認められる期間は？／135
ケース 68	学生納付特例の申請が遅れたけれど？／136
ケース 69	追納とは？／137
ケース 70	「追納の優先順位」とは？／138
ケース 71	付加保険料納付は遡及して納付可能？／139
ケース 72	「第3号被保険者の特例届出」とは？／140
ケース 73	第3号被保険者の届出忘れの具体的なケース／141
〈3〉厚生年金の加入・保険料 142	
ケース 74	厚生年金被保険者の種別とは？／142

ケース 75	厚生年金の適用拡大	/ 143
ケース 76	週所定労働時間が 20 時間以上とは？	/ 144
ケース 77	雇用期間が 1 年以上見込まれるとは？	/ 145
ケース 78	賃金月額が 8.8 万円以上とは？	/ 146
ケース 79	学生を適用除外にするのは？	/ 147
ケース 80	産前産後休業中の厚生年金保険料はどうなるの？	/ 148
ケース 81	育児休業中の厚生年金保険料はどうなるの？	/ 150

第4章 老齢基礎年金に関する相談

《1》老齢基礎年金の受給資格と事例	154
ケース 82	老齢基礎年金の受給資格期間が短縮された！	/ 154
ケース 83	老齢基礎年金における保険料納付済期間および合算対象期間の 具体例	/ 155
ケース 84	離婚しても、サラリーマンの妻であった合算対象期間は使える？ / 158	
ケース 85	遺族年金を受給していたので国民年金に加入していなかったけ ど… / 160	
ケース 86	国民年金任意加入時の未納期間も「カラ期間」になる？ / 161	
ケース 87	保険料を納めなかった任意加入期間の取扱い / 162	
ケース 88	国民年金任意加入時の未納期間は、障害や遺族の年金にも適用 される？ / 163	
ケース 89	保険料を納めた期間が 25 年ないと年金はもらえない？ / 164	
ケース 90	国民年金の加入期間が 10 年にならない… / 165	
ケース 91	加入期間がほとんどないけど、どうしたらよいの？ / 166	
《2》老齢基礎年金の年金額	169
ケース 92	厚生年金の報酬比例部分を受給中でも、国民年金に任意加入で きる？ / 169	
ケース 93	60 歳以後も厚生年金に加入して加入期間が 40 年になった場 合、老齢基礎年金は満額もらえる？ / 170	
ケース 94	老齢基礎年金は 1 年の加入でいくら増える？ / 171	

ケース 95	第3号被保険者になると、任意加入した保険料はムダになる？	／172
ケース 96	会社員の妻ですが、国民年金に任意加入していませんでした…	／173
ケース 97	保険料免除期間があるけど、年金額はいくらになる？	／174
ケース 98	付加保険料と付加年金	／175
《3》老齢基礎年金の繰上げ受給		178
ケース 99	「老齢基礎年金の繰上げ」とは？	／178
ケース 100	毎月5万円の年金を受給するには何歳から受け取ればよい？	／181
ケース 101	特別支給の老齢厚生年金を受けているけど、老齢基礎年金も繰り上げて受けたい…	／182
ケース 102	病気がちなので繰り上げて受け取りたいが…	／183
ケース 103	何歳から受給開始すると得？	／184
ケース 104	老齢基礎年金を繰上げ受給すると、加給年金額と振替加算額はどうなる？	／185
《4》老齢基礎年金の繰下げ受給		186
ケース 105	「老齢基礎年金の繰下げ」とは？	／186
ケース 106	繰下げ受給は何歳で請求すると得？	／188
ケース 107	老齢基礎年金を繰下げ受給すると、加給年金額と振替加算額はどうなる？	／190

第5章 老齢厚生年金に関する相談

《1》老齢厚生年金の受給スタイル		192
ケース 108	厚生年金の受給スタイルについて教えて	／192
ケース 109	昭和34年3月生まれの女性は60歳から年金が受給できる？	／194
ケース 110	昭和32年4月2日～昭和34年4月1日生まれの男性の年金受給スタイルは？	／195
ケース 111	第1号厚生年金期間（1年以上）がある女性のケース	／196
ケース 112	第1号厚生年金期間（1年未満）がある女性のケース	／197
ケース 113	共済組合期間のある女性のケース	／198
ケース 114	共済組合と厚生年金の加入期間がある女性のケース	／199

ケース 115	長期加入者・障がい者の特例とは？	/ 200
ケース 116	船員保険に加入していたけれど、年金はいつから受け取れる？	/ 203
ケース 117	中高齢の特例とは？	/ 204
ケース 118	障害厚生年金などの受給者には、特別支給の老齢厚生年金の障がい者特例が適用されるの？	/ 206
《2》老齢厚生年金の年金額と事例		208
ケース 119	特別支給の老齢厚生年金の年金額はどうやって決まるの？	/ 208
ケース 120	「総報酬制」って何？	/ 210
ケース 121	総報酬制導入前と導入後の期間のある人の老齢の年金額の計算はどうなるの？	/ 211
ケース 122	「従前額保障」って何？	/ 213
ケース 123	総報酬導入前の平均標準報酬月額の計算方法	/ 216
ケース 124	総報酬導入後の平均標準報酬額の計算方法	/ 217
ケース 125	「再評価率」って何？	/ 218
ケース 126	60歳以後働いたら年金はいくら増える？	/ 219
ケース 127	経過的加算額とは何？	/ 221
ケース 128	年金額の計算事例① 共働きの夫婦のケース	/ 223
ケース 129	年金額の計算事例② 国民年金と厚生年金の加入期間がある ケース	/ 226
《3》加給年金額と振替加算額		227
ケース 130	加給年金額が加算される？	/ 227
ケース 131	加給年金額を受給するためには、いつまでに扶養家族をつくればよい？	/ 230
ケース 132	60歳時点で加入期間が足りないと、年金の家族手当は加算されないので？	/ 231
ケース 133	妻が厚生年金を受給すると加給年金額は加算されない？	/ 232
ケース 134	会社の業績が不安定で、将来 850万円未満の年収になりそう。 加給年金額は加算される？	/ 233
ケース 135	厚生年金に5年間加入したが、加給年金額は受給できる？	/ 234
ケース 136	夫婦ともに厚生年金に20年以上加入。加給年金額・振替加算額はどうなる？	/ 235

ケース 137	妻が年上の場合の振替加算額は？	/ 237
ケース 138	厚生年金と共済組合に通算して 20 年以上加入したら、加給年 金額・振替加算額はどうなる？	/ 238
《4》共済組合の加入期間があるケース		240
ケース 139	短期間共済組合に加入していたけれど、共済年金は受け取れ る？	/ 240
ケース 140	JR 共済と農林共済に加入していた期間の年金はどこへ請求す ればよいの？	/ 241
ケース 141	退職一時金を返して年金で受け取りたい…	/ 242
ケース 142	共済組合員だった期間について、退職一時金をもらったかどう かわからない…	/ 243
《5》離婚等による年金分割		244
ケース 143	合意分割と 3 号分割がある？	/ 244
ケース 144	合意分割の手続きの流れは？	/ 247
ケース 145	「情報提供の請求」はどうするの？	/ 249
ケース 146	「合意」すべき内容は？	/ 252
ケース 147	合意分割の要件は？	/ 253
ケース 148	合意分割の仕組みは？	/ 254
ケース 149	専業主婦の合意分割は？	/ 255
ケース 150	共働きの合意分割は？	/ 256
ケース 151	年金分割を受けた期間の取扱いはどうなる？	/ 257
ケース 152	3 号分割について詳しく教えて	/ 258
ケース 153	3 号分割が行われるのは、どんなとき？	/ 259
ケース 154	3 号分割と合意分割は選択できる？	/ 260
ケース 155	3 号期間のある場合の合意分割の仕組みを詳しく教えて ／ 262	
ケース 156	65 歳で老齢基礎年金の受給権が発生する人が離婚を考えてい るなら…	/ 265
《6》年金の税金		267
ケース 157	年金にも税金がかかるの？	/ 267
ケース 158	老齢の年金にかかる税金はどのくらい？	/ 268
ケース 159	所得税の計算方法は？	/ 269
ケース 160	年金支給額は減ったのに、所得税が今年から控除されるよう なった…	/ 272

《7》基金について	274
ケース 161 基金の給付について教えて	/ 274
ケース 162 基金の年金の請求方法を教えて	/ 275
ケース 163 基金加入者の老齢厚生年金の額はどうやって求めるの？	/ 276
ケース 164 受給資格期間を満たしていないければ、厚生年金基金からも年金は受給できない？	/ 279
ケース 165 厚生年金基金は、給付の厚い分だけ保険料も高いの？	/ 280
ケース 166 企業年金連合会移換後に、加入していた基金が解散・代行返上したら？	/ 281
ケース 167 厚生年金基金から支給される年金と他の年金の関係について教えて	/ 282
ケース 168 基金からの給付と雇用保険等との調整はあるの？	/ 283
ケース 169 国民年金基金には、万一のときの保障はあるの？	/ 284
ケース 170 国民年金基金の給付に繰上げの制度はあるの？	/ 285
《8》脱退手当金等	286
ケース 171 脱退手当金を受給した期間は、受給資格期間に入る？	/ 286
ケース 172 脱退手当金をもらった期間の扱いはどうなる？	/ 288
ケース 173 受給期間を満たしていない外国人が帰国。年金受給はどうなるの？	/ 289
《9》マクロ経済スライド	291
ケース 174 マクロ経済スライドの仕組みについて教えて	/ 291
ケース 175 平成 30 年度からのマクロ経済スライドの仕組み	/ 292
ケース 176 平成 33 (新年号 3) 年度からの賃金・物価スライドはどうなる？	/ 295

第6章 60歳からの選択と老齢厚生年金

《1》60歳からの選択と年金	300
ケース 177 年金支給開始年齢からの「働き方」と年金支給額の仕組みを教えて	/ 300
ケース 178 在職老齢年金の仕組みを教えて	/ 304
ケース 179 65歳未満の在職老齢年金の仕組みを教えて	/ 306
ケース 180 65歳以上の在職老齢年金の仕組みを教えて	/ 310

ケース 181	自営業で所得が高いため、年金を請求していないが…	/ 312
ケース 182	60 歳以後低い給与で働くと年金額も減ってしまうの…?	/ 313
ケース 183	在職老齢年金は、具体的にはどのように計算するの?	/ 314
ケース 184	60 歳以後も厚生年金に加入したほうがよい?	/ 317
ケース 185	60 歳以後も厚生年金に加入して働くメリット	/ 318
ケース 186	501 人以上の事業所で週 24 時間程度しか働かないけど、年金はカットされる?	/ 320
ケース 187	退職して 500 人以下の事業所でパートになったら、年金はどうなるの?	/ 321
ケース 188	定額部分も受給できる人が厚生年金に加入した場合は?	/ 322
ケース 189	一部繰上げしている人が再就職した場合は?	/ 323
ケース 190	全部繰上げしている人が再就職した場合は?	/ 324
ケース 191	60 歳以後に納めている厚生年金保険料は、いつ年金に反映される?	/ 325
ケース 192	60 歳以後に初めて民間会社に勤めた場合の年金は?	/ 326
《2》雇用保険と年金の調整	327
ケース 193	基本手当の受給手続について教えて	/ 329
ケース 194	基本手当と年金の調整について教えて	/ 331
ケース 195	基本手当と年金どっちを受給したほうが得?	/ 333
ケース 196	基本手当の給付制限の間も年金は停止になるの?	/ 334
ケース 197	65 歳になる前に退職すると?	/ 336
ケース 198	さらにお得な退職日	/ 337
ケース 199	65 歳到達月に基本手当を受給すると、年金はどうなるの?	/ 339
ケース 200	基本手当を受け取ると、遺族・障害の年金も止まる?	/ 341
ケース 201	「高年齢雇用継続基本給付金」が受け取れないのはなぜ?	/ 342
ケース 202	高年齢雇用継続給付を受けたら年金はどうなる?	/ 343
ケース 203	高年齢雇用継続給付との調整の結果、年金が全額支給停止になると加給年金額はどうなるの?	/ 346
《3》繰上げ・繰下げ受給	347
ケース 204	報酬比例部分のみが受け取れる場合の「老齢基礎年金の全部繰上げ」とは?	/ 347

- ケース 205 報酬比例部分が 61 歳以後に支給開始となる場合の繰上げ受給
／ 348
- ケース 206 繰上げ請求が特例支給開始年齢の前と後での違いは？ ／ 349
- ケース 207 60 歳から年金が支給されない人の受け取り方の選択肢は？
／ 350
- ケース 208 特例支給開始年齢前に老齢基礎年金と老齢厚生年金の繰上げ
は？ ／ 351
- ケース 209 特例支給開始年齢以後の「老齢基礎年金の繰上げ」とは？
／ 352
- ケース 210 特例支給開始年齢前に繰上げ請求する場合の注意点は？
／ 353
- ケース 211 特例支給開始年齢前に繰上げ請求をした場合の受給額は？
／ 355
- ケース 212 特例支給開始年齢の長期加入者が繰上げ請求をした場合の受給
額は？ ／ 357
- ケース 213 老齢厚生年金の繰下げ受給はできるの？ ／ 360
- ケース 214 66 歳到達前の繰下げ待機中に遺族厚生年金が発生した場合
／ 361
- ケース 215 66 歳以後の繰下げ待機中に遺族厚生年金が発生したら？
／ 362
- ケース 216 特別支給の老齢厚生年金も繰下げできるの？ ／ 363
- ケース 217 65 歳以後の在職老齢年金の受給権者の繰下げはどうなる？
／ 364

第7章 遺族と障害に関する相談

- 〈1〉保険料納付要件 366
- ケース 218 障害や遺族の年金保険料納付要件とは？ ／ 366
- ケース 219 「保険料納付要件の特例措置」とは？ ／ 367
- ケース 220 保険料納付（3分の2）要件① ／ 368
- ケース 221 保険料納付（3分の2）要件② ／ 369
- ケース 222 保険料納付（3分の2）要件③ ／ 370
- ケース 223 保険料納付（3分の2）要件④ ／ 371

ケース 224 遺って免除が認められることによって、保険料納付要件を満たしたら？／373

〈2〉国民年金の遺族給付の受給要件と年金額 374

ケース 225 専業主婦の妻が死亡して、子のある夫が遺族の場合／374

ケース 226 年収が高いと遺族の年金は受け取れない？／376

ケース 227 「生計維持関係」について教えて／377

ケース 228 健康保険で子供の扶養家族となっているが、夫の遺族年金は受け取れる？／378

ケース 229 内縁の妻は遺族年金が受け取れる？／379

ケース 230 先妻の子と養子縁組をすると遺族基礎年金は失権する？／380

ケース 231 自営業の夫が死亡したら、どんな年金が受け取れるの？／381

ケース 232 子のいない妻が受け取ることのできる遺族年金はある？／383

ケース 233 遺族年金を受けているので、国民年金の保険料を納めてもムダ？／384

ケース 234 夫の死亡当時胎児であった子がいれば、遺族基礎年金は受け取れるの？／387

〈3〉厚生年金の遺族給付の受給要件と年金額 388

ケース 235 短期間でも厚生年金の期間があれば遺族厚生年金が出る？／388

ケース 236 共働きの妻が死亡したら、どんな年金が受け取れる？／389

ケース 237 子のいない30歳未満の妻に対する遺族厚生年金は、5年？／390

ケース 238 独身の息子が死亡。父は遺族年金を受け取れる？／391

ケース 239 3級の障害厚生年金受給者が死亡した場合も、遺族給付が受け取れる？／392

ケース 240 厚生年金期間のある妻が死亡して、子のある55歳未満の夫が遺族の場合／393

ケース 241 厚生年金期間のある妻が死亡して、子のある55歳以上の夫が遺族の場合／394

ケース 242 すでに遺族年金を受給している場合、夫も死亡したらどうなる？／396

- ケース 243 遺族厚生年金の期間比例（長期要件）・期間みなし（短期要件）の計算はどう違う？／399
- ケース 244 在職中の死亡の場合の遺族厚生年金の計算を教えて／401
- ケース 245 就職してたった1ヶ月でも、在職中に死亡すれば25年分の遺族厚生年金が出る？／402
- ケース 246 死亡者の要件と遺族厚生年金の年金額／403
- ケース 247 遺族の年金はどう変わっていくの？／405
- ケース 248 中高齢寡婦加算額はどのようなときに加算される？／406
- ケース 249 65歳になり老齢基礎年金が受給したら、今までもらっていた遺族厚生年金が減額されたが…／407
- ケース 250 遺族厚生年金の額には、夫が納めていた国民年金の保険料も反映されている？／409
- ケース 251 年金を受給している夫が死亡した後、過誤払いとなった年金の精算は？／410
- ケース 252 旧法の厚生年金受給中の夫が死亡したら、妻はどんな年金が受け取れる？／411
- 《4》障害の年金 412
- ケース 253 障害の状態になったのですが、どのような年金が受給できるの？／412
- ケース 254 障害厚生年金の年金額はいくら？／413
- ケース 255 障害年金の加給年金額について／414
- ケース 256 障害年金が支給される障害の等級は、身体障害者の等級と同じ？／415
- ケース 257 退職後保険料が未納でも、60歳までに障害の状態になったら障害年金は受け取れる？／416
- ケース 258 厚生年金加入中に発症した病気が原因で、退職後に障害の状態になったら？／417
- ケース 259 退職前には医療機関での受診を…／418
- ケース 260 障害年金を請求していなかったが、遡って支給される？／419
- ケース 261 65歳を過ぎてから障害の状態になったら、障害年金は受け取れる？／420
- ケース 262 20歳前の傷病で障害の状態になったら…／421
- ケース 263 老齢基礎年金の繰上げ受給中に障害の状態になったら、障害年金は受け取れる？／423

- ケース 264 障害認定日後に障害等級に該当したら？ / 424
- ケース 265 障害基礎年金2級を受給しながら、厚生年金に加入したら？ / 425
- ケース 266 障害の程度が重くなったときの手続きは？ / 426
- ケース 267 明らかに障害の程度が重くなったと認められれば、1年を待たなくて済むの？ / 427
- ケース 268 65歳以後発生の障害厚生年金の額は？ / 429

第8章 年金の併給と選択に関する相談

- 《1》老齢・遺族・障害の年金給付の併給調整 432**
- ケース 269 老齢基礎年金を継上げ受給していて、遺族厚生年金の受給権が発生したが… / 432
- ケース 270 遺族年金を受給すると、自分で掛けた厚生年金はどうなる？ / 433
- ケース 271 老齢厚生年金を受給中に夫が死亡。遺族厚生年金は受け取れる？ / 434
- ケース 272 遺族厚生年金を受給中に特別支給の老齢厚生年金がもらえるようになら… / 435
- ケース 273 遺族と老齢、65歳からはどうなるの？ / 436
- ケース 274 遺族共済年金を受給しているけれど、自分が加入した厚生年金も受け取れる？ / 438
- ケース 275 障害基礎年金と老齢厚生年金の調整 / 439
- ケース 276 障害基礎年金1級を受給している人に遺族厚生年金の受給権が発生したら？ / 441
- 《2》その他の年金給付の併給調整 442**
- ケース 277 寡婦年金と特別支給の老齢厚生年金の調整は？ / 442
- ケース 278 遺族厚生年金と寡婦年金は両方受け取れる？ / 443
- ケース 279 寡婦年金と死亡一時金はどちらがお得？ / 444
- ケース 280 旧遺族年金と妻の旧国民年金、旧厚生年金の併給はどうなる？ / 445
- ケース 281 旧老齢年金を受給中に夫が死亡。遺族年金は受け取れる？ / 446

- ケース 282 恩給を受給している夫が死亡。厚生年金の加入期間もあるけど、年金はどうなるの？／447
- ケース 283 労災保険の遺族年金と遺族厚生年金を受給しているけれど、自分の老齢基礎年金は受け取れる？／448

第9章 年金請求書に関する相談

- 〈1〉日本年金機構からのお知らせサービス内容 450
- ケース 284 年金の受給開始が間近な人に対して、日本年金機構から送付されるものは何？／450
- ケース 285 「年金に関するお知らせ（ハガキ）」の送付時期と内容は？／453
- ケース 286 1年未満の厚生年金期間しかない場合、「年金請求書」はいつ届く？／454
- ケース 287 60歳になっても何も届かないけれど、大丈夫？／455
- ケース 288 窓口に備えつけの「年金請求書」と送付された「年金請求書」どちらを使用すればよいの？／456
- ケース 289 送付された「年金請求書」の提出期限・有効期限は？／457
- ケース 290 60歳で年金を請求すると減額されてしまう？／458
- ケース 291 65歳で受給権が発生する人への「老齢年金のお知らせ（ハガキ）」① 厚生年金に加入したはずなのに記載がない／460
- ケース 292 65歳で受給権が発生する人への「老齢年金のお知らせ（ハガキ）」② このまま65歳まで待てばよいの？／461
- ケース 293 65歳で受給権が発生する人への「老齢年金のお知らせ（ハガキ）」③ このまま66歳まで待たなければならないの？／463
- ケース 294 特別支給開始年齢（61歳～64歳）で受給権が発生する人への「老齢年金のお知らせ（ハガキ）」／464
- ケース 295 65歳前から年金を受給している人が65歳になったときの手続きは？／466
- ケース 296 60歳時点で年金の受給資格期間を満たしていることが確認できない人①／467
- ケース 297 60歳時点で年金の受給資格期間を満たしていることが確認できない人②／469

ケース 298 60歳以後に年金の受給資格期間を満たすと、年金請求書は届くの？ / 470

《2》年金請求書の内容・書き方と添付書類 471

ケース 299 年金請求書（事前送付用の年金請求書）の留意点① / 471

ケース 300 年金請求書（事前送付用の年金請求書）の留意点② / 489

ケース 301 戸籍謄本と年金手帳の氏名が違っていたらどうすればよい？ / 494

ケース 302 基礎年金番号以外の年金手帳の記号番号はなぜ必要？ / 495

ケース 303 雇用保険の被保険者番号は必ず書かなければならないの？ / 496

ケース 304 年金請求書に記入する住所は住民票と違ってもよいの？ / 497

ケース 305 「子」は何歳まで？ / 498

ケース 306 老齢給付の年金請求書の「イ. 配偶者の年金受取状況欄」の書き方を教えて / 499

ケース 307 「扶養親族等の申告書」は何のために書くの？ / 501

ケース 308 60歳以後働く場合でも、扶養親族等申告書を提出するの？ / 502

ケース 309 加給年金額の対象者は、控除対象配偶者になる？ / 503

ケース 310 老齢基礎年金のみを受給する場合、「扶養親族等申告書」は必要？ / 504

ケース 311 失業手当を受けている妻は、控除対象配偶者になる？ / 505

ケース 312 老齢給付の年金請求書の「オ. 履歴欄」の書き方を教えて / 506

ケース 313 年金請求のときの添付書類を教えて / 507

ケース 314 年金請求時の添付書類は受給権発生日前に取り寄せても大丈夫？ / 508

ケース 315 離婚した夫の年金加入期間を借りることができる？ / 509

ケース 316 雇用保険関係の添付書類が揃わないと年金請求はできない？ / 513

《3》年金請求の手続き 514

ケース 317 年金請求は代理人でもできる？ / 514

ケース 318 年金はどこまで遡って受け取れる？ / 515

ケース 319 遺族厚生年金を引き続き受給する場合、「特別支給の老齢厚生年金」の請求は不要？ / 516

- ケース 320 特別支給の厚生年金受給中の人人が 65 歳になった時の手続きは？ / 517
- ケース 321 特別支給の退職共済年金を受給中の人人が 65 歳になった時の手続きは？ / 518
- ケース 322 老齢厚生年金と一元化前の退職共済年金を受給中の人人が 65 歳になった時の手続きは？ / 520
- ケース 323 遺族厚生年金を受給しているけれど、65 歳になった時の年金の請求手続きは？ / 521
- ケース 324 年金の繰下げ請求の手続きはどうすればよい？ / 522
- ケース 325 厚生年金基金の受取りは郵便局でもできる？ / 524
- ケース 326 年金の受取りを郵便局に変更するための手続きは？ / 525

ミニ知識

- ・基礎年金番号 / 113
- ・免除等の全体像 / 129
- ・老齢基礎年金の額の計算 / 177
- ・繰上げ受給と繰下げ受給 / 180
- ・厚生年金加入による増加額計算式 / 220
- ・加給年金額の対象者の認定期 / 228
- ・加給年金額と振替加算額 / 236
- ・源泉徴収税額の計算 / 271
- ・雇用保険給付の概要 / 327
- ・雇用保険と年金の調整後の事後精算 / 335
- ・高年齢雇用継続基本給付金 / 345
- ・国民年金の遺族給付と受給要件 / 385
- ・遺族厚生年金の受給要件 / 398
- ・中高齢寡婦加算額と経過的寡婦加算額 / 408
- ・平成 30 年 3 月 5 日からの年金分野でのマイナンバー利用による手続きについて / 490
- ・年金証書の年金コードの読み方 / 500
- ・年金請求に必要な添付書類 / 510

第 1 章

被用者年金の 一元化

《1》年金の請求と支払い	20
《2》受給資格と在職老齢年金	24
《3》一元化後の遺族厚生年金	37
《4》一元化後の職域加算の扱い	54
《5》離婚分割と振替加算額	62

一般厚年と共済厚年の加入期間がある人の年金請求と支払いはどうなる？ (その1：男性の場合)

Q

私は、昭和31年12月26日生まれの男性です。年金の支給開始年齢の62歳になりますが、民間会社に就職した時の1号厚生年金と地方公務員で共済組合に加入していた3号厚生年金の加入期間があります。

年金の請求手続はどのようにすればよいのですか？ 1号厚生年金、3号厚生年金それぞれ手続きが必要ですか？ また、年金の支払いはどこから行われるのですか？

A

一元化後は、共済組合員等も、厚生年金に加入し厚生年金保険法が適用されることになりました。一元化前（平成27年9月30日以前）の旧地共済期間も一元化後、3号厚生年金期間とみなされます。このため、一元化後に発生する年金は、すべて老齢厚生年金として決定されます。

地方公務員であった3号厚生年金期間については、3号老齢厚生年金として決定されます。

ただし、年金の決定と支払い（振込み）は一元化前と同様に、3号老齢厚生年金は地方公務員共済組合が決定し、地方公務員共済連合会から支払われます。

1号老齢厚生年金は、日本年金機構が決定し、日本年金機構から支払われます。

請求の手続きは、一元化前はそれぞれに請求手続が必要でしたが、一元化後は最後に加入していた実施機関（日本年金機構または共済組合）から1号・3号厚生年金の年金請求書（ターンアラウンド）が送付されますので、いずれかの窓口に提出すれば同時に請求することができます（いずれかの一つの窓口に提出すれば自動的に同時

に請求したことになりますので、それぞれに請求書を提出する必要はありません)。

また、年金証書がそれぞれから発行されます。振込みの金融機関は同じ所でも、別々の金融機関でも構いません。

なお、一元化前の旧共済組合員期間がある場合は、退職共済年金（経過的職域加算額）が支給されます。退職共済年金（経過的職域加算額）の請求手続については、老齢厚生年金の請求で職域加算額の請求も兼ねています。退職共済年金（経過的職域加算額）の別途請求の必要はありません。



One Point

厚生年金の種別

平成 27 年 10 月 1 日以後は、共済組合等の加入者も、厚生年金保険法が適用され、厚生年金保険法による被保険者となり、次のような種別が設けられました。

【厚生年金保険被保険者の種別】

一元化前	一元化後の厚生年金保険被保険者種別
厚生年金保険の被保険者	第 1 号厚生年金被保険者 (一般厚年)
国家公務員共済組合の組合員	第 2 号厚生年金被保険者 (国共厚年)
地方公務員共済組合の組合員	第 3 号厚生年金被保険者 (地共厚年)
私立学校教職員共済制度の加入員	第 4 号厚生年金被保険者 (私学厚年)

- ・国年 1～3 号被保険者との混合を避けるため（）内の呼称を用います。
- ・旧共済組合期間も一元化以後それぞれの種別の厚生年金期間とみなされます。

一般厚年と共済厚年の加入期間がある人の年金請求と支払いはどうなる? (その2:女性の場合)

Q

1号(一般)厚生年金と3号(地共済)厚生年金の加入期間がある昭和33年4月2日生まれの女性は、61歳から1号老齢厚生年金が支給開始され、3号老齢厚生年金は63歳から支給開始され、支給開始年齢が異なりますが、年金の請求手続はどのようにすればよいのですか？61歳で、1号老齢厚生年金、3号老齢厚生年金の請求を同時にやっておくのですか？

61歳で請求手続を行えば、63歳からの3号老齢厚生年金の手続きは行わなくても、自動的に支給開始されるのですか？

A

昭和33年4月2日から昭和41年4月1日生まれの女性であって、一般厚年と共済厚年の加入期間がある人は、一般厚年と共済厚年では、老齢厚生年金の支給開始年齢が異なります。一般厚年が61歳から64歳と、共済厚年は63歳から65歳と支給開始年齢が異なりますので、これらの人の年金請求手続は、それぞれ支給開始年齢に到達したときにそれぞれ請求手続が必要です。

あなたの場合は、61歳の一般厚年の支給開始年齢に到達したときは日本年金機構から、63歳の共済厚年の支給開始年齢に到達したときは共済組合からそれぞれ年金請求書が送付（※）されます。
(※) 年金請求書（ターンアラウンド請求書）は、それぞれ誕生月の3月前に送付されます。

送付された請求書は、日本年金機構、共済組合のいずれの窓口へでも提出できます。

1号厚生年金と3号厚生年金期間を合算した期間が20年以上あり、かつ、加給年金額の加算対象者となる配偶者がいる場合は、加給年金額加算のための必要書類の添付が必要となります。必要書

類（戸籍謄本、住民票、配偶者の所得証明）は、期間の長いほうの請求時に添付します。年金の支払いや共済期間の経過的職域加算額の扱いはケース1と同様です。

61歳

1号老齢厚生年金（2年）



日本年金機構から
年金請求書が送付される

63歳

3号老齢厚生年金（30年）



共済組合から年金請求書が送付される
(加給年金額加算のための書類添付)



One Point

用語解説

- ・ 1号老齢厚生年金
厚生年金の1号期間（一般厚年）に基づいて支給される老齢厚生年金
- ・ 3号老齢厚生年金
厚生年金の3号期間（地共厚年）に基づいて支給される老齢厚生年金

長期加入者の特例は、1号（一般厚年）と 3号（共済厚年）を合算して 44年でもよい？

Q

私は、来年の3月31日で定年となり、4月1日で61歳になりますが、再雇用で継続勤務することになっています。

再雇用後は、1号厚生年金に加入することになります。

加入期間が44年になると長期加入者の特例が適用されますが、同じ厚生年金ですので、3号の共済厚生年金と再雇用後に加入する1号の一般厚生年金で合算して44年になれば長期加入者の特例が適用になりますか？

A

一元化後は、公務員等も被用者はすべて厚生年金の被保険者になりますが、長期加入者の特例に該当するための44年の加入期間は、一元化後も厚生年金の種別ごとに適用されることになっています。

したがって、あなたのように3号厚生年金を資格喪失してから1号厚生年金に加入される場合は、合算はできませんので3号+1号≥44年となっても長期加入者の特例には該当しません。

定年後、引き続き同じ3号厚生年金として再任用される場合は、3号厚生年金（3号厚生年金とみなされる一元化前の旧地共済期間を含む）のみで44年になれば長期加入者の特例が適用されます。3号厚生年金期間のみで44年になり、65歳までに退職されたときは退職日の翌月から長期加入者の特例が適用になります。

なお、一元化後も、国家公務員共済と地方公務員共済には通算制度がありますので、2号厚生年金（国共済厚年）と3号厚生年金（地共済厚年）間では合算で44年になれば、長期加入者の特例が適用されます。

著者略歴

原 令子 (はら れいこ)



- 岡山県出身・岡山大学卒業
- 株式会社ジェイ・サポート代表取締役
- 社会保険労務士原令子事務所所長
- 社会保障国民会議「雇用・年金分科会」委員、
社会保障審議会年金部会専門委員を務めた

年金という重いテーマを実に明るく、軽やかに語る。セミナー終了後には、参加者一人ひとりの胸の中にしっかりと元気が充電されている。簡潔さ、わかりやすさはもちろん、「年金」をテーマにして仕事のやりがい、人生の生きがいを導きだす独特の手法は、「レイコマジック」と呼ばれ、全国に数多くのファンを持つ。セミナー実績は、3,000回以上に及ぶ。年金の語り部として、依頼があれば全国どこへでも身軽に出向く。

TV 出演 (NHK・MBS・TBS他)、執筆と他方面にわたり活躍中。

【経歴】

- 2013年社会保障審議会年金部会専門委員
- 2008年内閣総理大臣主宰「社会保障国民会議」の雇用・年金分科会委員
- 日本郵政公社総裁感謝状（2006年郵政記念日）
- 日本郵政公社東京支社長感謝状
- 近畿郵政局長感謝状
- 近畿郵政研修所長感謝状
- 大阪府社会保険労務士会会长表彰

【講演テーマ】

- ・「おもしろ年金セミナー」
- ・「定年退職者のための生活設計セミナー」
- ・「プロとしての年金の話し方・伝え方」
- ・「年金を活用する営業研修」
- ・「なりたい自分実現講座」

【講演歴】

ゆうちょ銀行・みずほ銀行・信金・生保等の全国の金融機関をはじめ、COOP 共済連合会、全国共済水産業協同組合連合会、全労済、日本経済新聞社、三菱重工労働組合他、多数。

【事務所案内】

〒 560-0043
大阪府豊中市待兼山町 13-5
TEL 06-6848-2203 FAX 06-6848-2205
<http://www.jesupport.co.jp>